

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

## 大船渡市教育委員会「学校支援地域本部事業」の成果と課題(岩手県大船渡市)

### 取組事業

学校支援地域本部事業

### 活動実施場所

盛小、大船渡小、末崎小、赤崎小、猪川小、立根小、日頃市小、大船渡北小、綾里小、越喜来小、吉浜小、大船渡中、吉浜中

### 取組概要

#### ◎スクールガード配置事業

- ・登下校時の安全を確保するため市内小中学校13校にスクールガード44人を配置した。(1校平均3.3人配置、1人当たりの平均活動時間は1日1時間)
- ・各校の状況に応じ、引率型8校(登下校に同行)、巡回型3校(通学路の危険箇所等を巡回監視)、添乗型2校(スクールバスに同乗して車内の安全を確保する)により実施した。
- ・学区内で声掛け事案が発生した場合のさらなる事案の発生、拡大の防止のため、学校とスクールガードの連携体制を強化し、情報の共有を図っている。

#### ◎学校支援事業

- ・市内5校に地域コーディネーターを配置し、ボランティアによる学校活動支援を目指したが、地域コーディネーター1人の配置に留まっている。



スクールガード(引率型)

### 事業成果

#### ◎スクールガード配置事業

- ・復興工事等で大型車両等の往来が増加する中、登下校時の安全を確保することができた。(事故発生件数0件)
- ・引率型、巡回型の配置により、登下校時の児童生徒に対する声掛け事案の発生を防ぐことができた。(事案発生件数0件)
- ・スクールバスに添乗することで、特に低学年の車内での安全を確保することができた。(事故発生件数0件)

### 課題や今後の取組

#### ◎スクールガード配置事業

通行車両の増加に加え、道路整備の進捗に伴う通学路の変更も度々行われており、今後とも登下校時の安全確保対策が必要であるが、スクールガードのなり手が少なくなっている。スクールガードからは、子供達との交流が楽しみでやりがいを感じているとの声が聞かれるので、地域住民に当事業のさらなる周知を図り、必要な人材を確保したい。

#### ◎学校支援事業

地域コーディネーターのなり手が不足し、計画した事業に遅れを生じている。地域住民、学校関係者に積極的に情報発信し、必要な人員を確保したい。